

7 月植物観察会

7 月 5 日 (土) 9 時～12 時

自然保護グループ 滝佳子

猛暑が続く中、「この暑さでは花も少ないよね」と言いながら、8 名で観察会を開始。

最初に出合ったのは、赤くしぼんだコマツヨイグサの小さな花。マツヨイグサには、しぼむと赤色になる種類と、黄色のまましぼむ種類があるという。



赤くしぼんだコマツヨイグサ

強い日差しを避けるように足早に進むと、観察会で初めてノカンゾウの花に出合った。さらに進むと、八重咲きのヤブカンゾウが鮮やかな橙色の花を咲かせ、暑さに負けじと咲き誇っていた。今回一番楽しみにしていたボタンクサギも繁殖地を広げ、大輪の花を多数咲かせており、蕾もまだ数多く残っていた。



ノカンゾウ (左) とヤブカンゾウ (右)

城山コースの休み处でお茶タイム。青もみじの木陰で涼をとりながらお喋りに花が咲き、木曽川コースはカット。それでも予想以上に多くの花に出会えた観察会となった。

経ヶ岳山行

7 月 9 日 (水)

登山グループ 中野 薫

帷子地区センターを朝 6 時に 23 名で出発。経ヶ岳 (2296m) は低気圧の影響で昼過ぎから雨の予報。



圧巻のササユリの中を進む

権兵衛峠登山口 (1550m) から 2 班に分かれ、9 時 15 分に登山開始。登山道はフカフカで歩きやすく、まずはアンテナピーク (1807m) を目指して進み、10 時頃に到着。さらに樹林帯を進むとササユリが現れ、害獣による食害防止のためにロープで囲まれ、ヒトデの忌避剤が多数吊るされていた。北沢山 (1968m) の頂上近くでは、フェンスに囲まれた広大なお花畑が目の前に広がる。そこ一面に咲くササユリは圧巻。

午後の雨を考慮し、今回の目標地点であるコイノコ (2038m) の手前で折り返す。ササユリ群生地では 11 時半に昼食をとり、12 時に下山開始。権兵衛峠登山口へ戻る。

17 時、全員無事に帷子地区センターに帰着。

初めての富士山登頂記

7 月 25 日 (金)～26 日 (土)

榊原 日出明

2025 年 7 月、ついに日本一の山、

富士山 (標高 3776m) に登頂。長年の夢の実現であり、想像を遥かに超える体験であった。

選んだのは吉田ルート。五合目に午後 3 時到着時は豪雨で心が折れかけたが、虹と晴れ間に励まされ、7 合目の山小屋へ進む。

夜 9 時にご来光を目指して出発。足元に広がる街の灯りが星の海のように輝き、一步ずつ登るうちに空が明るみ、ご来光が現れる。黄金色の光に染まる山肌は言葉を失うほどの美しさであり、疲れを忘れさせる力を与えてくれた。

七合目を過ぎると空気が薄くなり、頭痛や息切れ、急勾配の岩場との戦いとなった。それでも山頂へ到達。眼下に広がる雲のじゅうたん、遠くの山々、360 度の絶景に立つ非日常の体験。小さな自分と、大きな達成感が同時にこみ上げた。

影富士や火口を巡るお鉢巡りも堪能。見たい景色をすべて達成した。

自然の偉大さ、人の温かさ、自らの限界への挑戦——そのすべてが学びと感動となり、人生の一ページとなった。

またいつか、別のルートで挑戦したいと思わせる富士山。やはり日本の心そのものである。



御来光と共に出現した「影富士」(影富士とは富士山の影が雲海や麓の風景に映し出される現象)

白山のお花畑は最高

7月28日(月)～29日(火)

岩瀬 雄一

高山植物のお花畑を目指し、有志5名(高島勝・中村睦子・伊藤芳子・深澤経子・岩瀬雄一)で白山へ。

登山コースは最も一般的な別当出合から砂防新道の往復。1日目は別当出合⇒中飯場⇒甚之助小屋⇒黒ボコ岩⇒室堂。2日目は室堂⇒御前峰(ご来光)⇒室堂(お花畑散策)⇒別当出合。

別当出合からつり橋を渡り、森の中の単調な上りが続く。暑さにバテながら甚之助小屋に着くと、景色が一変。崩れた山肌が眼前に広がり、高山らしい様相となる。昼食休憩の後、再出発。ぽつぽつと花が現れ、やがて斜面一面に広がるお花畑が姿を見せた。

12曲がりの急斜面、黒ボコ岩、弥陀ヶ原の木道、室堂まで、ハクサンコザクラ、イワギキョウ、ミヤマキンバイ、イブキトラノオ、ニッコウキスゲ、クルマユリなどが続き、群生や混在の美しさが際立つ。



ハクサンコザクラ群生

室堂に着く頃、雨が降り始めたが、夜には天の川と満天の星が広がり、高山ならではの光景を楽しめた。

翌朝4時に室堂を出発し、御前峰でご来光を拝む。神主による白山にまつわる話の後、雲海から昇る太陽を清々しい気持ちで見届けた。室堂に戻り周囲のお花畑を散策。クロユリの群生も観賞できた。山肌と雪渓のコントラスト、靄、青空に浮かぶ御前峰など、美しい景観を目に焼き付けて下山。帰りの車中では話題が尽きなかった。



室堂から御前峰を望む風景をバックに記念写真



黒ボコ岩から別山をバックに

入笠山山行

8月6日(水)

登山グループ 深澤 経子

帷子地区センターを朝6時に22名で出発。当初予定していた乗鞍岳(3026m)は悪天候のため、入笠山(1955m)に変更。

沢入登山口に9時15分到着。丸太の階段を登り、涼しい風を受けながら入笠湿原(1734m)へ。そこから岩場を経て11時10分に山頂到着。ガスで展望は得られなかったが、涼しい風の中で昼食。



涼しい風の中での昼食タイム

下山は再び入笠湿原を通過。6月にははずらんが満開となる場所だが、この時期はサワギキョウ・シモツケソウ・マツムシソウなどが咲き、さらにフジバカマに誘われたアサギマダラにも出合う。ゴンドラ山頂駅でルバーブ入りソフトクリームを味わい、14時30分に沢入登山口へ。18時30分に帷子地区センター帰着。

9月植物観察会

9月6日(土) 9時～11時40分

自然保護グループ 水野可律子

残暑厳しい中、15名で2ヶ月振りの観察会を実施。

今回特に印象的だったのは、ヘクソカズラ・メリケンムグラ・ヒレタゴボウ・マルバルコウなどの群生が、コースのあちらこちらで観察されたことだ。

また、テイカカズラとサネカズラ(別名ビナンカズラ)の実の形状が違ふことは驚きだった。前者は2個が対になっていて細長く、後者は球状なのだ。

あぜ道コースでは肌を刺すような暑さだったが、城山コースに入ると背の高い木々に遮られ、一気に涼を感じた。今回も7月に続き城山コースのお休み処でゆっくりして、木曽川コースはパス。予定の20分程前に終了して解散。



傷つけると悪臭を放つヘクソカズラ

これからの活動予定一覧

【保全パトロールG 高島勝 中村睦子】

- 保全活動 真禅寺P／9時集合
・10月16日(木)・11月20日(木)

【登山G 千賀徳子】

- 天城山(静岡県)・箱根駒ヶ岳(神奈川県)
・10月8日(水)～9日(木)
帷子地区センターP／6時集合
- 蓬萊山(滋賀県)
・11月12日(水)
帷子地区センターP／6時集合

【自然保護G 水野可律子】

- 植物観察会 カタクリP／9時集合
・10月4日(土)・11月1日(土)

【事務局】

- 連絡会 土田地区センター／9時半集合
・10月2日(木)・11月6日(木)
- 会報発送 福祉センター／9時半集合
・11月25日(火)
- 可児市山の日(可児観光協会・ともの会協賛)
・10月14日(火)
- もみじ祭り カタクリP
・11月29日(土)・30日(日)
- 入会者 村山康宣、吉田正毅、安藤亜樹、鬼頭佐千子
- 退会者 白井清水

【鳩吹山ともの会 連絡先】

Phone: (西川)

e-mail: